

R東海は静岡工区着工の遅れを受け、当初目標としていた27年開業を断念。今すは36年以降になるとみられる。

矢作川から緊急導水

愛知県方針 豊川濁水、連絡管使い

愛知県東三河地方を中心に水を供給する豊川用水の濁水を受け、県は矢作川水系との連絡管「幸田蒲郡線」を緊急使用し、導水する方針を固めた。事故・災害



害用に2002年度に完成した連絡管で、濁水対策で使うのは初めて。また27日には静岡県に対し、天竜川水系の佐久間ダムから緊急導水するための協力を求める方針だ。濁水の深刻化で生活や産業への影響が広がる中、対応を急いでいる。

幸田蒲郡線は、矢作川水系の幸田浄水場（愛知県幸田町）と豊川水系の蒲郡ポンプ場（同県蒲郡市）間の約11キロ。矢作川水系から最大で1日約5千立方メートル（毎秒約0.06立方メートル）の水を送れる。県などの関係機関による緊急濁水協議会で27日に決定し、28日から使用する見通し。矢作川水系から減る水量分は、愛知用水から補うという。

めでは、佐久間ダムから豊川用水への導水は5月6日～9月20日の一定の条件を満たした場合のみ、最大で毎秒14立方メートル（年間5千万立方メートル）を供給できる。現在は本来の期間外で、天竜川水系も節水中だが、緊急

事態として静岡県に要請する方針。国も交えて27日に静岡県庁で協議する。決定すれば、期間外の導水は41年ぶりとみられる。

豊川用水では、主要水源の宇連ダム（愛知県新城市）の貯水率が26日午前0時現在で0%で、大島ダム（同市）や調整池を含めた用水全体の貯水率も6・3%まで低下。水資源機構などは28日、27日朝からの節水強化を決めた。農業用水と工業用水の節水率は50%、水道用水は30%と現行からそれぞれ5割引き上げる。

音つちへ復興 朝市



26日、石川県輪島市で電機を撤去する重機